

GAPシンポジウム



一般社団法人
日本生産者GAP協会

▶ お問い合わせ

Home
ホーム

Symposium
開催概要

Program
プログラム

History
過去のシンポジウム

Application
参加申込

Access
アクセス



お知らせ Topics

2013-10-01 2013年度GAPシンポジウムの参加受付を開始いたしました。
詳細はこちらから。

2013-09-13 2013年度GAPシンポジウムの開催概要を更新いたしました。
詳細はこちらから。

開催スケジュール

2013年11月28日（木）～30日（土）
フェニックス・シーガイア・リゾート ▶HP

プログラム

今年度の「GAPシンポジウムは」、「GLOBALG.A.P. 2013ツアーJAPAN」と同日同じ会場で開催。
GAPの今を知る絶好の機会です。

参加申込

お申込みは、FAXまたは登録フォームにて受付。
詳細はこちらから。

▲ ページのトップへ戻る

ホーム 開催概要 プログラム 過去のシンポジウム 参加申込

GAPシンポジウム事務局

Copyright© 2022 Japan Farmers GAP Association All Rights Reserved.

GAPシンポジウム


[お問い合わせ](#)

Home ホーム	Symposium 開催概要	Program プログラム	History 過去のシンポジウム	Application 参加申込	Access アクセス
-------------	-------------------	------------------	----------------------	---------------------	----------------

開催概要

名 称	2013年度 GAPシンポジウム (合同開催 GLOBALG.A.P. 2013ツアーJAPAN)
総合日程	2013年11月28日(木)～30日(土)
開 催 地	フェニックス・シーガイア・リゾート »HP (〒880-8545 宮崎県宮崎市大字塩路字浜山3083番地)
参加費(資料代)	主催・共催団体会員：¥10,000、 一般：¥15,000 学生：無料(資料集なし)

2013年度 GAPシンポジウム

主 催	一般社団法人 日本生産者GAP協会
対 象 者	農業試験研究者、農業普及関係者、大学・大学校、農業高校、農業生産者、農業法人 産直団体、農林行政機関、卸売市場、卸売会社、農産加工会社、農産物流通・小売企業 外食企業、消費者、調査・研究機関、他
テ ー マ	「都道府県のGAP指導者養成と、産地のGAP実践教育で実績を上げている“日本GAP規範”に基づく“GAP教育システム”の事例に学び、持続的農業と農産物輸出、その産地の対応について議論を深めます。」 一般社団法人日本生産者GAP協会のGAP教育システム「GH評価制度」に取り組んだ生産者団体がGLOBALG.A.P.認証を取得しています。本シンポジウムでは、世界レベルの農場保証GLOBALG.A.P.と日本の適正農業管理とその指導について理解を深めます。

GLOBALG.A.P. 2013ツアーJAPAN »HP

主 催	GLOBALG.A.P.事務局c/oFoodPLUS GmbH、GLOBALG.A.P. NTWG Japan (注) (注)日本におけるGLOBALG.A.P.の技術作業部会
協 力	GLOBAL G.A.P.協議会、日本生産者GAP協会
後 援(案)	宮崎県、JA宮崎経済連、JETRO
テ ー マ	「各国・各地域におけるGLOBALG.A.P.の実践例や新しいプログラム、及び成功事例を共有して、国際標準のGAPを理解し、我が国における取組みに資すること GLOBALG.A.P.では、世界各地で会議や研修会を開催していますが、ツアー2013ではアジアでも開催することとなり、9月に中国のハルビン市で、そして11月に日本の宮崎県で開催することになりました。今回日本では、日本政府の農産物輸出戦略を見据え、①GAPの実情と課題、②GAPの普及と指導、③農産物輸出とGLOBALG.A.P.に焦点を当てます。

[▲ ページのトップへ戻る](#)
[ホーム](#) [開催概要](#) [プログラム](#) [過去のシンポジウム](#) [参加申込](#)

GAPシンポジウム事務局

GAPシンポジウム


 一般社団法人
日本生産者GAP協会

[お問い合わせ](#)
[Home
ホーム](#)
[Symposium
開催概要](#)
[Program
プログラム](#)
[History
過去のシンポジウム](#)
[Application
参加申込](#)
[Access
アクセス](#)

GAPシンポジウム・GLOBALG.A.P. 2013ツアー JAPAN

プログラム

- ▶ 11月28日
- ▶ 11月29日
- ▶ 11月30日

プログラム：11月28日（木）

GAPシンポジウム

9:00～	受付	
9:30～ 9:40	開会	（総司会：石谷孝佑 日本生産者GAP協会 常務理事） 主催者挨拶 二宮正士 日本生産者GAP協会 常務理事（東京大学教授）
9:40～ 10:40	講演『日本のGAP指導の現状と方向』（60分）	*本格化した都道府県のGAP規範に基づくGAP指導者の養成 田上隆一 日本生産者GAP協会 理事長（㈱AGIC 代表取締役）
10:40～ 11:00	ブレイクタイム	
11:00～ 12:30	指導事例『日本のGAP指導の事例』	
	①富山県条例に基づくGAP推進と評価員養成（30分）	田中義昭 富山県農林水産部農業技術課主幹・エコ農業推進係長
	②長野県専門技術員によるGAP指導者教育（30分）	山城政利 長野県農政部農業技術課環境農業係
	③福岡県GAP指導者養成の成果（30分）	田中有理 福岡県飯塚農林事務所田川普及センター園芸課野菜係
12:30～ 14:00	ランチタイム	
14:00～ 14:30	講演『GH評価制度（GAP教育システム）の活用』（30分）	田上隆一 日本生産者GAP協会 理事長 *農場評価の現場で確認した問題点と今後のGAP教育
14:30～ 16:00	産地事例『GH評価の事例』	
	①『富山県普及指導員による農場評価の結果と対象農場の改善』（30分）	石王 誠 樽蔵産業株式会社 代表取締役
	②『茨城県直売所生産者のGAP規範に基づく農場評価』（30分）	白川洋輔 株式会社みずほ GAP担当
	③『ラオスでのGAP評価と実践指導』（30分）	田上隆多 ㈱AGIC GAP普及部長
16:00～ 17:00	総合討論『日本農業のアイデンティティと農業普及活動』（60分）	（司会）山田正美 日本生産者GAP協会 常務理事（パネラー）田中義昭、山城政利、田中有理、石王誠、白川洋輔、田上隆多

プログラム：11月29日（金）

GLOBALG.A.P. 2013ツアー JAPAN »HP

10:30～ 10:50	開会宣言	GLOBALG.A.P.協議会 代 表理事 千葉大学 松田友義教授	
	来賓挨拶	宮崎県知事 河野俊嗣知事	
	来賓挨拶	国立大学法人宮崎大学 菅沼 龍夫学長	
	来賓挨拶	JA宮崎経済連 羽田正治 代 表理事会長	
10:50～ 11:40	Welcome speech	FoodPLUS Flavio Alzueta	Introduction to GLOBALG.A.P.
11:40～ 12:05	提言①	農林水産省 生産局 農林水 産部技術普及課 渡邊康正課 長	我が国におけるGAPの取 組及び推進施策
12:05～ 12:40	基調講演①	GLOBALG.A.P.協議会 代 表理事 千葉大学 松田友義 教授	安全・安心とフードチェ ーン全体の取り組み
12:40～ 13:40	昼食	各目	
13:40～ 14:15	基調講演②	GLOBALG.A.P. NTWG Japan 議長 東京農工大学 澁澤栄教授	法令パッケージ「GAP共 通基盤ガイドライン」の 意義
14:15～ 14:40	提言②	農林水産省食料産業局 輸出 促進G	国の輸出戦略（仮題）
14:40～ 15:05	提言③	経済産業省 九州経済産業局 産業部 成清四男美次長	農商工連携事業と九州に おける農業成長産業化の 取組
15:05～ 15:30	提言④	日本貿易振興機構(JETRO) 福岡貿易情報センター 浜口 聡所長代理	日本の農林水産物・食品 輸出について

ブース展示・関係者交流

16:00～ 16:50	GLOBALG.A.P.事務局	FoodPLUS Ignacio Antequera	History and Future of Good Agricultural Practices
16:50～ 17:30	海外に学ぶ	在日オランダ大使館農務参事 官 Cindy Heijdra	Agriculture in the Netherlands and Dutch experiences with GLOBAL G.A.P.
17:30～ 17:55	事例紹介①-1	日本・宮崎大学 農学部 木 下統准教授	宮崎大学農学部における GAP指導者の養成
17:55～ 18:30	事例紹介①-2	タイ・カセサート大学 Dr.Chuanpis Aroonrungsikul	
	情報交換会	GAPシンポジウムと GLOBAL G.A.P. 2013 ツ アー JAPANとの参加者が合 同で情報交換会を行います。	参加費：4,000円

プログラム：11月30日（土）（Ⅰ・Ⅱが並行実施される）

Ⅰ. GLOBALG.A.P. 講習会（別途案内）

Ⅱ. GAPシンポジウム

9:00～	受付		
9:15～ 10:00	講演 『日本の農産物輸出と生産 者の対応』（45分）	松田友義 千葉大学大学院園芸学研究科 教授	

10:00～ 11:00	事例報告『GLOBALG.A.P.への 取り組み』	
	①『酒米産地でのGAP推進と GLOBALG.A.P.認証取得』 (30分)	河合克行 株式会社アスク 代表取締役
	②『GLOBALG.A.P.認証と 「北魚沼コシヒカリ」フランス国 際見本市』(30分)	桜井真一 農事組合法人青島ファーム 代表理事
11:15～ 12:00	講演『日本GAP規範に基づく GAP教育システムと GLOBALG.A.P.認証』(45 分)	田上隆多 日本生産者GAP協会 事務局長 *日本の農業風土で実現する世界標準GAP認証の コンサルティング

[▲ ページのトップへ戻る](#)

※内容につきましては、変更になる場合もございますので、その旨ご容赦下さい。

※講演内容、時間は進行上の都合により変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。（敬称略）

[ホーム](#) [開催概要](#) [プログラム](#) [過去のシンポジウム](#) [参加申込](#)

GAPシンポジウム事務局

Copyright© 2022 Japan Farmers GAP Association All Rights Reserved.